

「新しい公共」型施設運営のための利用促進部会計画

- 1 目的 「支え合いと活気のある」施設を作るための「協働の場」のひとつとして、国立大雪青少年交流の家の広報について幅広い意見を収集、反映することにより、成果をあげることが目的とする。
- 2 期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日
- 3 委員

	氏名	所属・役職
1	山中 ちあき	北海道青年団体協議会 顧問
2	竹村 康治	(株)北海道新聞社旭川支社 報道部長
3	十川 健一	NHK旭川放送局 副局長
4	尾崎 吉一	旭川ケーブルテレビ(株) 代表取締役社長
5	松倉 敏郎	旭川商工会議所 専務理事
6	田中 光彦	北海道高等学校協会道北支部 旭川南高等学校長
7	岩城 功	上川管内校長会理事 美瑛小学校長

4 計画 (主たる内容)

件名	内容	広報時期	成果目標
利用促進及び広報活動方針に関する事	①利用者数の確保 ②稼働率の確保 ③利用促進月間(10月・11月・2月)を設定した青少年団体への利用促進 ④近隣市町村商工会議所と連携した利用促進 ⑤施設業務運営委員会との協働による特別企画事業の実施 ⑥利用者数および利用団体数の増減原因の分析に基づく広報活動の効果的な展開	通年	①総利用者数9万3千人以上(宿泊利用7万1千人, 日帰り利用2万2千人) ②稼働率54%以上 ③青少年団体の新規利用団体数14件 ④会議・会合における利用促進を3件実施 ⑤宿泊型2事業 ⑥ア分析に基づく広報用チラシ(パッケージプラン)作成 イ2訪問広報営業活動18件の実施 ウ3利用促進広報物作成に関する研修の実施
研修支援に関する事	①「施設の研修支援等に関する自己採点表」の達成度の向上 ②研修支援団体への活動プログラム支援のあり方の見直し ③活動コース等の安全管理・活動プログラムの危機管理対策の整備を通じた教育環境の整備	通年	①該当項目において達成度80%以上の確保 ②研修支援団体への指導方針の制定及びプログラム体験会の実施 ③活動コースの定期点検の実施と記録簿整備および危機管理マニュアルの見直し
広報活動の充実に関する事	①職員一芸選択プログラムの見直し ②利用団体アンケート「パンフレットやホームページなど事前の情報提供」における満足度	通年	①高齢者大学での利用5団体 ②「満足」「やや満足」で100%達成

- 5 自己点検評価
期間の中間期及び年度末に、自己点検・評価を行う。
- 6 部会審議
年3回程度を予定

「新しい公共」型施設運営のための事業部会計画

1 目的 「支え合いと活気のある」施設を作るための「協働の場」のひとつとして、国立大雪青少年交流の家の事業について幅広い意見を収集、反映することにより、成果をあげることを目的とする。

2 期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日

3 委員

	氏名	所属・役職
1	大島峰夫	北海道社会教育委員連絡協議会 会長
2	浜田哲	美瑛町 町長
4	佐藤潤一	北海道教育庁上川教育局 教育支援課長
5	目黒義重	NPO法人どんころ野外学校 理事長
6	飯塚淳	林野庁上川中部森林管理署 署長
7	石田美慧 ⁰	環境省北海道地方環境事務所東川自然保護官事務所 自然保護官
8	村上健一	美瑛町ライオンズクラブ 監事

4 計画（主たる内容）

件名	内容	推定期	成果目標
教育事業等の企画運営に関すること	①企業や民間団体等各機関と連携した事業の実施 ②全ての教育事業で募集定員を充足させる。 ③全ての教育事業の募集開始を5週間前に実施する。 ④企画段階から関係機関・団体等との検討委員会を実施 ⑤青少年教育指導者等の養成事業における資質の向上 ⑥リレーションシップ事業を活用した「早寝早起き朝ごはん」国民運動の推進 ⑦幼児期の遊びを中心とした運動プログラムの推進 ⑧「体験の風をおこそう」運動の普及啓発	通年	①3事業以上の実施 ②全ての事業での定員の充足 ③全ての教育事業で実施 ④1事業以上の実施 ⑤指導者養成事業において毎年度平均80%以上の評価を得る ⑥生活リズムに関する普及啓発事業の実施 ⑦5か所以上の出前事業実施 ⑧道内全ての市町村のエントリー
連携促進事業に関すること	①北海道青少年教育施設協議会と連携した研修会の実施 ②各市町村教育委員会等と連携した体験活動・生活習慣・読書習慣定着の取組や事業の実施	通年	①青少年教育施設職員の資質向上のための研修会を実施 ②取組みへの参画

5 自己点検評価

期間の中間期及び年度末に、自己点検・評価を行う。

6 部会審議

年3回程度を予定

「新しい公共」型施設運営のための管理運営部会計画

- 1 目的 「支え合いと活気のある」施設を作るための「協働の場」のひとつとして、国立大雪青少年交流の家の管理運営について幅広い意見を収集、反映することにより、成果をあげることが目的とする。
- 2 期間 平成28年4月1日～平成29年3月31日
- 3 委員

	氏名	所属・役職
1	瀬川 謙二郎	NPO法人ふらの演劇工房 理事長
2	片岡 晃 恵	旭川市教育委員会学校教育部 次長
3	服部 久 和	上川管内教育委員会連合会教育長部会社会教育委員会 委員長
4	西海 正 博	びえい白金温泉観光組合 組合長
5	神子素 賢 一	美瑛町農業協同組合 管理課長

4 計画（主たる内容）

件名	内容	時期	成果目標
50周年記念事業に向けた事業計画及び寄附金獲得に関する事	①開所50周年記念事業における予算計画の策定 ②寄附金獲得の実現	通年	①予算計画の策定 ②寄附金350万円の獲得
受益者負担の適正化に関する事	①受益者負担の適正化、自己収入の確保に関し、バス燃料費、プール利用料に係る経費等の導入の検討を実施	通年	①バス燃料費の平成29年度導入の検討 ②プール使用料に係る経費の平成29年度以降の導入の検討
施設・設備の長期計画（施設マスタープラン）の策定に関する事	①施設・設備の具体的な将来計画の策定を実施	通年	①施設マスタープランの策定及び機構本部への提出 ②改修要求事項上位2件の予算化実施
ナショナルセンターの職員として、高い倫理観・使命感を兼ね備えた人材の育成に関する事	①人材育成基本研修の内容を見直し、適切な時期に、効果的・効率的な研修の実施	通年	①危機管理、安全管理に関する研修の適切な時期の実施（防火管理、救急救命、保健衛生研修等）

- 5 自己点検評価
期間の中間期及び年度末に、自己点検・評価を行う。
- 6 部会審議
年3回程度を予定